

リスク管理への取り組み

国内外の経済情勢、金融市場など、金融機関を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況下で、大阪信用金庫が「この街のホームドクター」として、ご信頼をいただき、地域社会の繁栄に貢献していくためには、適切なリスク管理を通じて、経営の健全性を維持しつつ適正な収益を確保することが重要となっています。

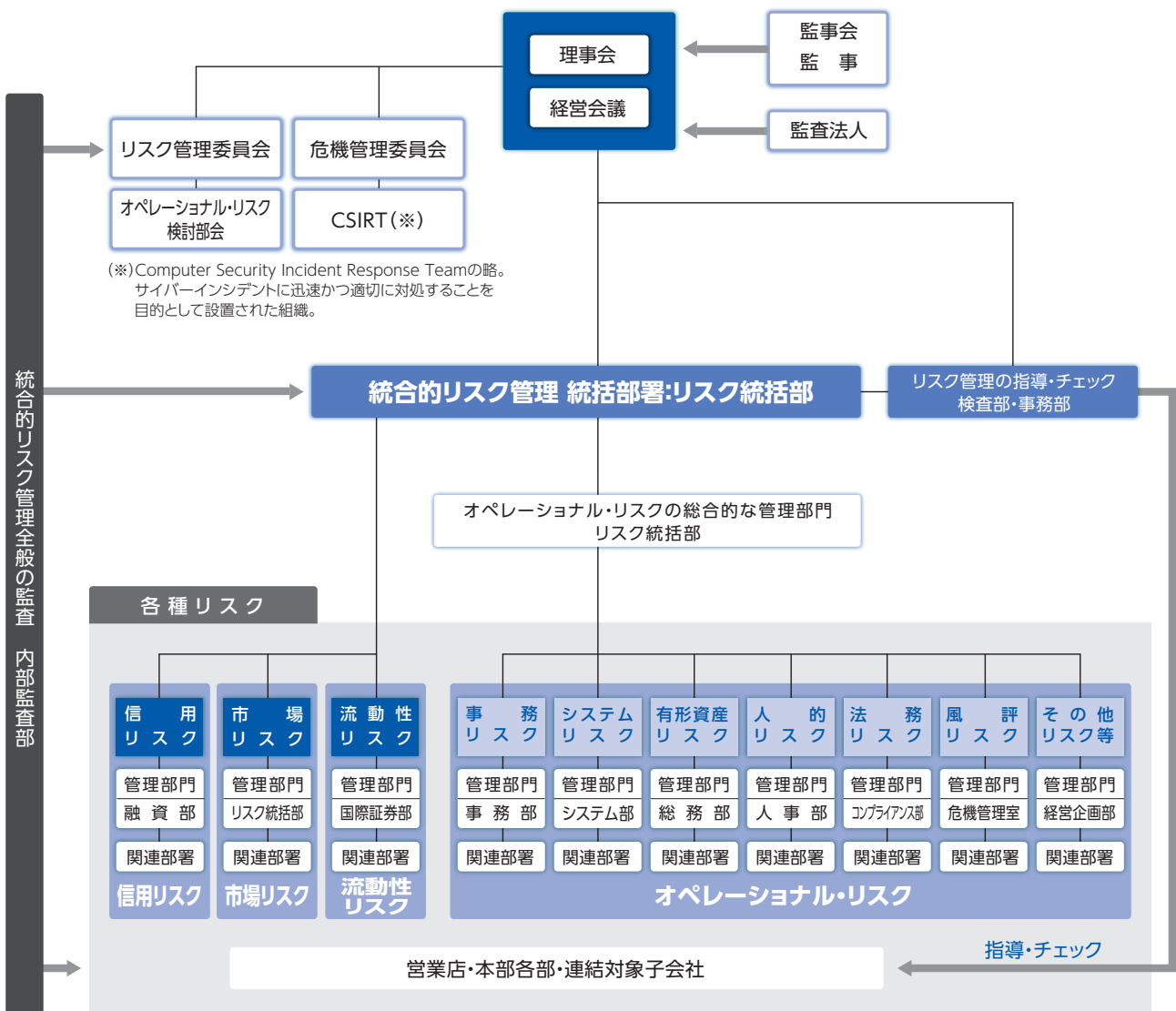
このため、当金庫では、リスク管理態勢の強化を経営課題の一つと位置付け、各種リスクの所在を的確に把握し、それらの適切な管理に努めています。

統一的リスク管理

統一的リスク管理とは、金融機関が直面するリスクに関して、それぞれのリスクカテゴリーごと（信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク等）に評価したリスクを総体的に捉え、金融機関の経営体力を示す自己資本と比較・対照することによって自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

当金庫では、各種業務の遂行に伴い発生するさまざまなリスクを各管理部門が適切に管理するとともに、統一的リスク管理統括部署が組織横断的な調整を行い、経営体力に見合ったリスクコントロールを実施しています。

◎ 統一的リスク管理態勢図



リスク管理への取り組み

各種リスク

信用リスク

信用リスクとは、取引先の倒産や財務内容の悪化などにより、資産（貸出金や有価証券など）の価値が減少ないし消失し、金融機関が損失を被るリスクのことです。

当金庫では、個別与信の審査・管理において、営業推進部門からの審査部門の独立性を確保し、厳正な審査体制を整備しています。

また、与信ポートフォリオ全体の信用リスクの状況を適切に把握するため、業種集中リスクや大口集中リスクについて定期的にモニタリングをしています。さらに与信先の格付の遷移状況も検証しています。

市場リスク

市場リスクとは、金利や株式、為替などのさまざまな市場のリスク・ファクターが変動することで、金融機関の資産・負債の価値が変動し損失を被るリスク、ならびに資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクのことです。

当金庫では、市場部門（フロント）および事務管理部門（バック）と、市場リスク管理部門（ミドル）とを組織上分離して相互牽制体制を確立しています。またリスクリミット、ポジション枠等の遵守状況についてはリスク管理部門がモニタリングしています。

流動性リスク

流動性リスクとは、運用と調達の間隔のミスマッチや予期せぬ資金の流出により、必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での調達が余儀なくされることにより損失を被るリスク（資金繰りリスク）、および市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク（市場流動性リスク）をいいます。

当金庫では、市場流動性の高い有価証券への投資を中心に行うとともに、突発的な現金需要にも対応できるよう余裕をもった資金繰りに努めて、流動性リスクが顕在化しないように厳正に管理しています。

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であることまたは外生的な事象により損失を被るリスクをいい、「事務リスク」「システムリスク」「有形資産リスク」「人的リスク」「法務リスク」「風評リスク」等があります。

当金庫では、それぞれのリスクに応じた管理態勢や管理方法を定め、リスクの削減に努めています。

事務リスク

事務リスクとは、役職員が正確な事務を怠る、あるいは事故・不正等を起こすことにより金融機関が損失を被るリスクのことです。

当金庫では事務処理にかかる内部規程を整備し、正確かつ厳正な事務処理を通じてお客さまにご信頼をいただけるよう努めています。

また、検査部による臨店検査や事務部の臨店指導を通じて事務ミス・事故の未然防止を図るとともに、内部研修等により事務水準の向上に取り組んでいます。

システムリスク

システムリスクとは、コンピュータ・システムのダウンまたは誤作動等システムの不備等により、あるいはコンピュータが不正に使用されることにより金融機関が損失を被るリスクのことです。

当金庫では、セキュリティポリシーやシステムリスク規程を定め、適切な管理態勢を整備しています。また、サイバーインシデントに迅速かつ適切に対処することを目的としてCSIRT（「シーサート」、Computer Security Incident Response Team）を設置するなど、情報システムの安全性、信頼性の維持に努めています。

有形資産リスク

有形資産リスクとは、災害・その他の事象から生じる有形資産の毀損・損害などにより、金融機関が損失を被るリスクのことです。

当金庫では、いろいろな事故や災害に備え、建物の定期的な整備、点検等を実施し、有形資産リスクの低減に努めています。

人的リスク

人的リスクとは、人事運営上の不公平・不公正（報酬・手当・解雇等の問題）および差別的行為（セクシャルハラスメント等）により、金融機関が損失を被るリスクのことです。

当金庫では、各種人事関連規程を整備するとともに、差別的行為に対しては通報窓口を設置し、公正な人事運営に努めています。また、教育・研修や職場指導等により、的確な管理を行っています。

法務リスク

法務リスクとは、お客さまに対する過失による義務違反および不適切なビジネス・マーケット慣行により、金融機関が損失を被るリスクのことです。

当金庫では、基本方針、法令等遵守方針、コンプライアンス・マニュアル等に基づき、法令等遵守態勢の整備を行い、各種業務における法務リスクの検証と適切な管理により、当金庫の損害の未然防止、極小化に努めています。

風評リスク

風評リスクとは、悪い評判や風説等が世間に広がることにより、金融機関の信用が著しく低下し、金融機関が損失を被るリスクのことです。

当金庫では、「風評リスク対応手順書」を作成し全ての役職員が対応できる内部態勢を整備しています。また、お客さまからの苦情・インターネット上の風評関連情報を毎日チェックするなど、十分な管理態勢を確保しています。

オペレーショナル・リスク